



学校だより

11月号

ふじのき

横浜市立藤の木小学校

校長 保科 桂子

令和7年10月31日

〒232-0061 横浜市区大岡四丁目10番1号 電話045-731-0606 FAX045-713-7916

学校教育目標

藤の学び合い 響き合い
一人一人を大切にしながら学び合う学校をめざします

ひか あせ かがやひとみ

光る汗、輝く瞳 で

副校長 石井 淳慈

今年の運動会も無事に終わることができました。天候により開催日時を変更することになりましたが、保護者・地域の皆さまにはご理解とご協力をいただき、盛大に開催することができ、本当にありがとうございました。当日はスローガン「みんなが主役 全力出しきる運動会」のもと、各自めあてを立て、達成にむけて活動してきました。10月初旬は夏の名残を感じる暑い日もありましたが、各学年、応援団、そして実行委員会など様々な準備も、貴重な時間を大切にして順調に進めてきました。保護者・地域の皆様には、何週間も前から子どもたちのために力添えをいただき、本当にありがとうございました。

さて、私が最後に担任をしていた小学校は、各学年3クラスで、クラスを赤と白に分けていました。運動会の前の日には、クラスで色ごとに「優勝を想定した話し合い」をしました。まず「明日の運動会は優勝した」と決めておくのです。そして、優勝に至った経緯をみんなで挙げていきます。「徒競走のスタートがよく、1位になった」「つなひきは大接戦だったが赤が勝った」「玉入れは2個の差で白が勝った」「応援団の声が練習の2倍大きかった」・・・。「友達や家族からの励ましがうれしかった」というものもありました。みんなで優勝の理由を出していくうちに、これまでの個のがんばり、集団の蒿まりなどを確認し、チームワークをますます強いものにしていきます。「当日の最終的なめあての設定」もできます。「家族からの励ましが・・・」という話からは、おうちの方々への感謝の気持ちも読み取れます。いろいろ挙げていくうちに、黒板は「自分たちの明日の姿」でいっぱいになります。そして当日の朝、黒板をみんなで確認し、運動会に臨みました。運動会で培ったことは、その後の行事につながっていきます。同様の手法は、体育行事だけでなく、芸術的行事でも、校外学習でも行いました。

どの子どもも、様々な困難を乗り越え、めあてを達成するため取り組んできました。そして運動会当日、これまでの学習の成果を遺憾なく発揮し、一人ひとりが努力の花を咲かせました。よく走り、よく演技し、よく応援し、会場には懸命な姿に感動の渦が生まれました。保護者・地域の皆様からの心強いエールもたくさんいただきました。

毎日のように、マイクの声や音楽でご迷惑をおかけしましたが、子どもたちのためにと、心を寄せてご支援いただきました。ご近所の皆様、ありがとうございました。藤の木小学校が地域や保護者の皆様に温かく見守られ、ご支援をいただきながら、諸行事を行えることを実感いたしました。今後とも、一層のご理解ご協力をよろしくお願い申し上げます。